

昨今の「道路陥没事故」に関する弊社の取り組みについて

平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は1923年に設立されてから100年以上歩む過程で、コンクリート製品の設計から製造・施工（PCボックスカルバート・TB(タッチボンド)工法など）に関する数々の製品・工法、それらに関わる知的財産を蓄積しております。

昨今、道路陥没事故が社会問題となっておりますが、下水道管路に起因する道路陥没事故を未然に防止するため、弊社の主力製品であるPCボックスカルバート、それらに関する工法は、道路陥没事故の未然防止に貢献出来る製品であると考えております。

この度、弊社の主力製品および工法を以下のとおりご紹介いたします。



2025年2月
代表取締役社長
狩野 堅太郎

主力製品は「PCボックスカルバート」

地下に埋設される箱型のコンクリート構造物

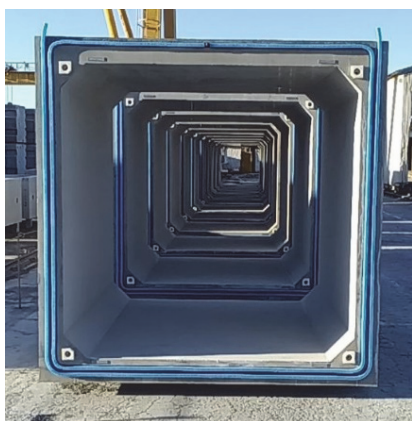


★ 頂版と底版にあらかじめ圧縮力を加えた耐久性・水密性・復元性に優れた製品です



PCボックスカルバートの設置状況

- 下水道・雨水排水路・農業用水路・地下道などの様々なインフラ整備で長期にわたり活躍
- 長期耐久性に優れたプレストレストコンクリート(PC)構造のボックスカルバート
- 幅と高さは用途・現場条件に合わせて自由自在（幅は用途に合わせて1～10m程度まで様々）



テレビ局から複数の取材を受けニュース番組に放映されました

<p>1966年（昭和41年） PCボックスカルバート 実績第1号 伊丹空港の滑走路内を 横断する雨水幹線</p>	<p>1981年（昭和56年） 日本PCボックスカルバート 製品協会 設立</p>	<p>2012年（平成24年） （公社）日本下水道協会 I類認定資器材に登録 J S W A S A-13 J I S A 5373 適合製品</p>
---	---	---



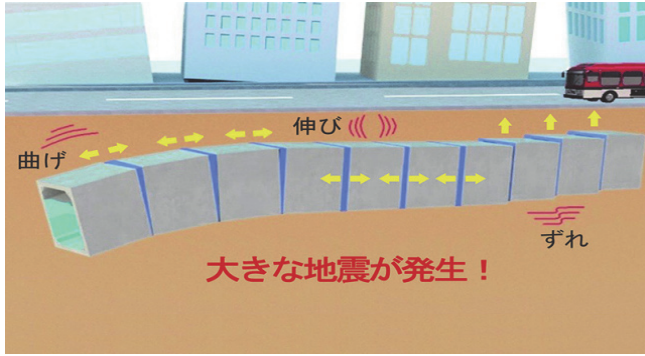
100年以上にわたり「インフラ整備」で社会に貢献

主力工法は「TB（タッチボンド）工法」

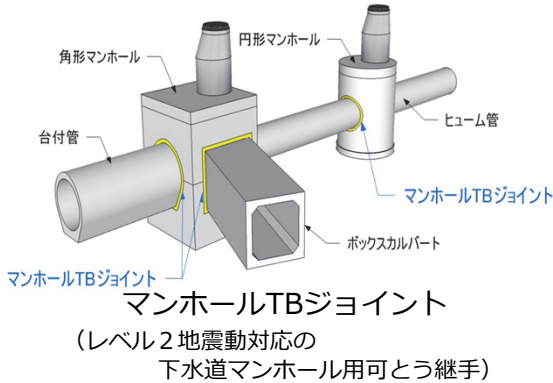
耐震性に優れた構造物を構築



★ 製品どうしの接合面（継手）に、伸び能力に優れた高弾性接着剤(TBボンド)を充填することで「レベル2地震動」をクリアした耐震性接着継手工法です



- レベル2地震動による継手部の様々な変位に水深10m以上の水密性を保持したまま柔軟に追随
- 曲線部・直角部・落差部も直線部と同じ耐震性
- マンホール・既設構造物との耐震接続が可能
- 既設構造物の目地補修および耐震化が可能



(公社) 日本下水道協会
I類規格の
接続工法に登録
J S W A S A-12 A-13

先端建設技術センター
技術審査証明を取得
技審証第202302号

国土交通省NETIS
登録時の番号
KK-070004-VE

「耐震性のあるインフラ整備」で社会に貢献

老朽化した構造物の長寿命化

および 脱炭素社会への貢献

「ECO-C・L（エコ・クリーンリフト）工法」

ボックスカルバートを無騒音（CO₂排出ゼロ）で運ぶ



★ バッテリーによって作動する無騒音の台車により、移動式クレーンで直接施工できない現場でもプレキャスト製品を搬送、据え付けることができる搬送台車工法です



老朽化した既設構造物（下水道）の内部にボックスカルバートを搬送して補強（長寿命化）

- 台車はバッテリーによって作動するため作業時は無騒音（CO₂排出ゼロ）学校や病院の近くでも安心
- 通常のクレーン施工と比べてCO₂排出量を約50%削減
- 狭隘な空間でも微調整ができるため老朽化した既設構造物の補強（長寿命化）に最適



国土交通省NETIS
登録時の番号
KK-100064-A

インフラの整備・環境改善対策技術の提案・カーボンニュートラルへの貢献

弊社ではお客様及び市場の多様なニーズに応えられる体制の構築を基本方針としており、業界のリーダーとして下水道管路等の老朽化による道路陥没事故の未然防止に貢献して参ります。

なお、弊社製品におきましては多くの引き合いをいただいておりますが、通期の業績予想に修正が必要な事象が生じた際には速やかに開示いたします。